

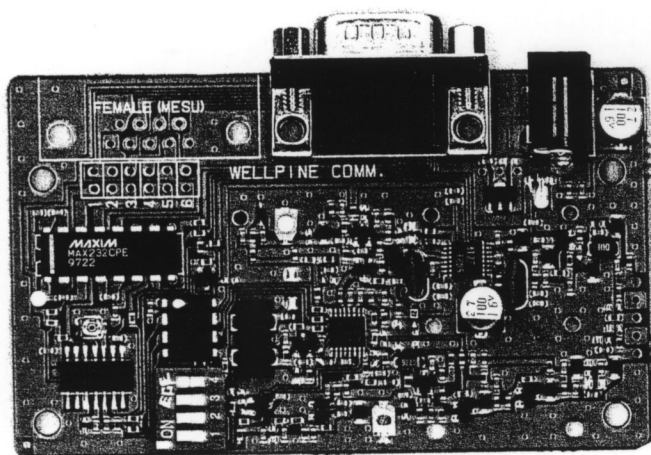
# 超高速無線式 RS-232C全二重通信ユニット

PLLシンセサイザー方式で最大16CH(対)の通信が可能  
110bpsから115.2kbpsの通信速度に対応  
微弱電波を使用  
パソコン間・その他RS-232Cポート間の通信に対応

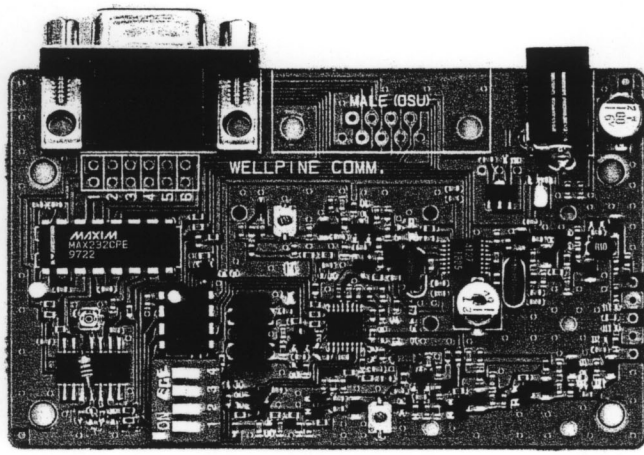


# 微弱無線式RS-232C全二重通信ユニット(PLL)

WP-203L / WP-203H



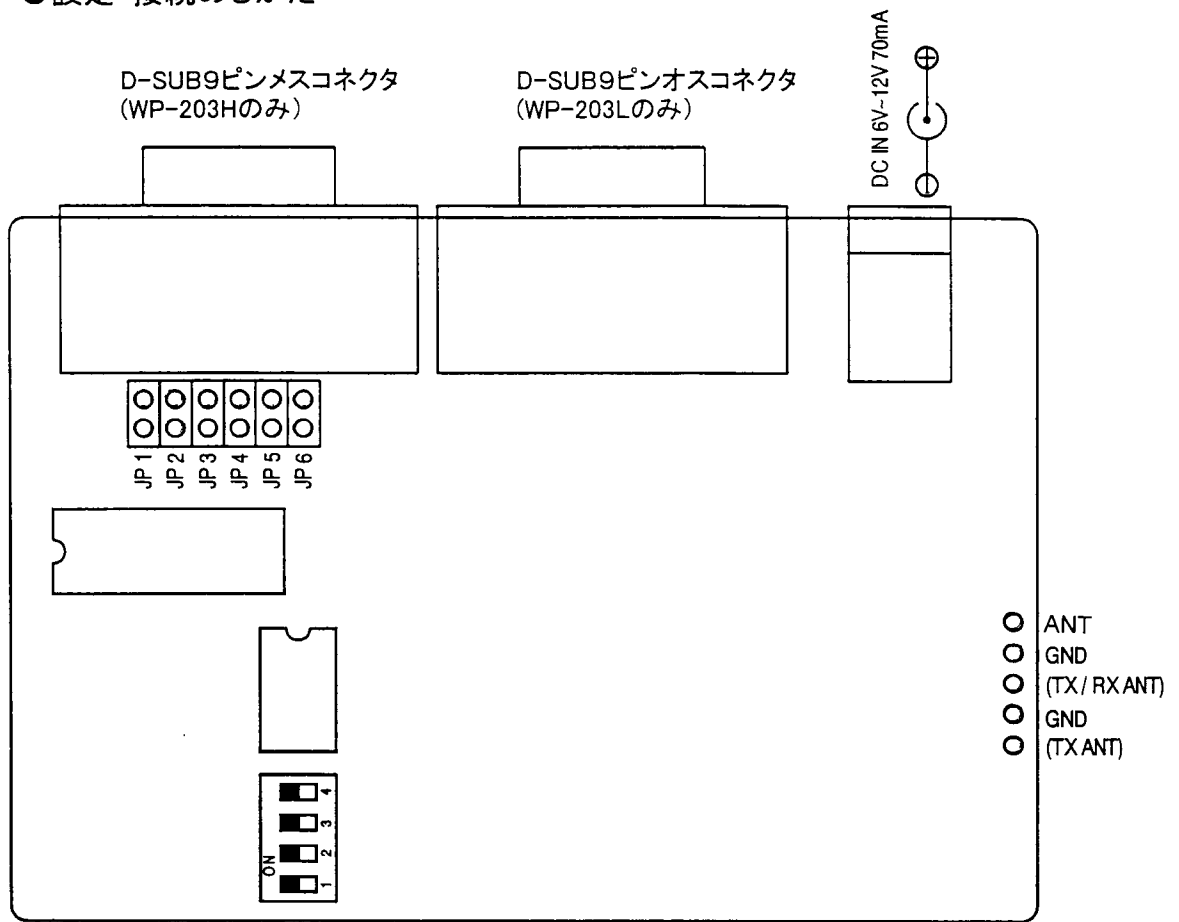
WP-203L



WP-203H

- RS-232Cを無線で全二重(FULLDUPLEX)の通信が可能です。
- PLLシンセサイザ方式により最大16CH(対)の通信が可能です。
- 110bpsから115.2kbpsの通信速度に対応しています。
- 微弱電波を使用しています。
- パーソナルコンピュータ間・その他RS-232Cポート間の通信に対応しています。
- 測定機器等とパーソナルコンピュータ間を無線通信でアイソレーションが可能です。  
(ノイズ・電位差のカットができます)

● 設定・接続のしかた

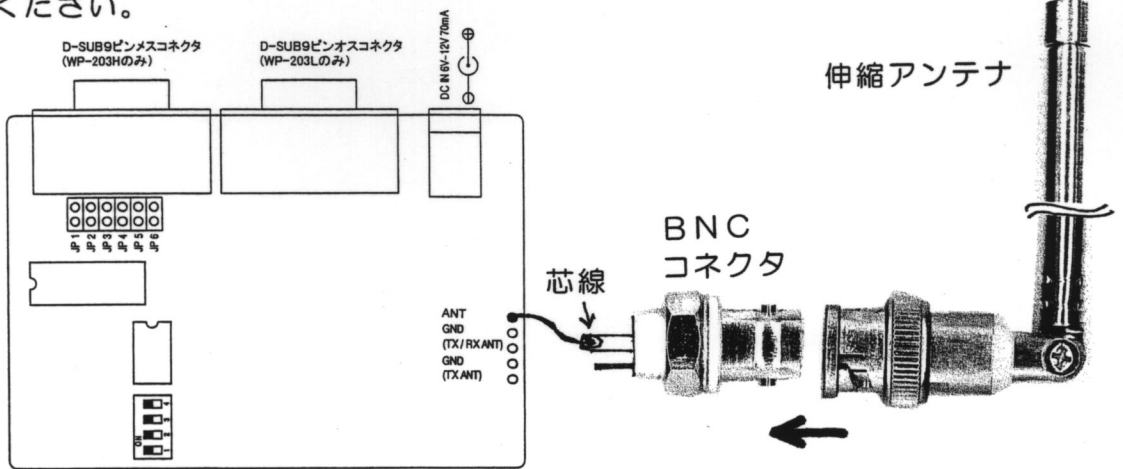


	DIPスイッチの設定				WP-203L(オス)		WP-203H(メス)	
	1	2	3	4	送信周波数	受信周波数	送信周波数	受信周波数
CH1	OFF	OFF	OFF	OFF	262.0	314.0	314.0	262.0
CH2	ON	OFF	OFF	OFF	262.5	314.5	314.5	262.5
CH3	OFF	ON	OFF	OFF	263.0	315.0	315.0	263.0
CH4	ON	ON	OFF	OFF	263.5	315.5	315.5	263.5
CH5	OFF	OFF	ON	OFF	264.0	316.0	316.0	264.0
CH6	ON	OFF	ON	OFF	264.5	316.5	316.5	264.5
CH7	OFF	ON	ON	OFF	265.0	317.0	317.0	265.0
CH8	ON	ON	ON	OFF	265.5	317.5	317.5	265.5
CH9	OFF	OFF	OFF	ON	266.0	318.0	318.0	266.0
CH10	ON	OFF	OFF	ON	266.5	318.5	318.5	266.5
CH11	OFF	ON	OFF	ON	267.0	319.0	319.0	267.0
CH12	ON	ON	OFF	ON	267.5	319.5	319.5	267.5
CH13	OFF	OFF	ON	ON	268.0	320.0	320.0	268.0
CH14	ON	OFF	ON	ON	268.5	320.5	320.5	268.5
CH15	OFF	ON	ON	ON	269.0	321.0	321.0	269.0
CH16	ON	ON	ON	ON	269.5	321.5	321.5	269.5

JPの設定	
JP1	DTR/DSRが接続されます
JP2	NC
JP3	NC
JP4	NC
JP5	NC
JP6	RTS/CTSが接続されます

### ■アンテナの接続■

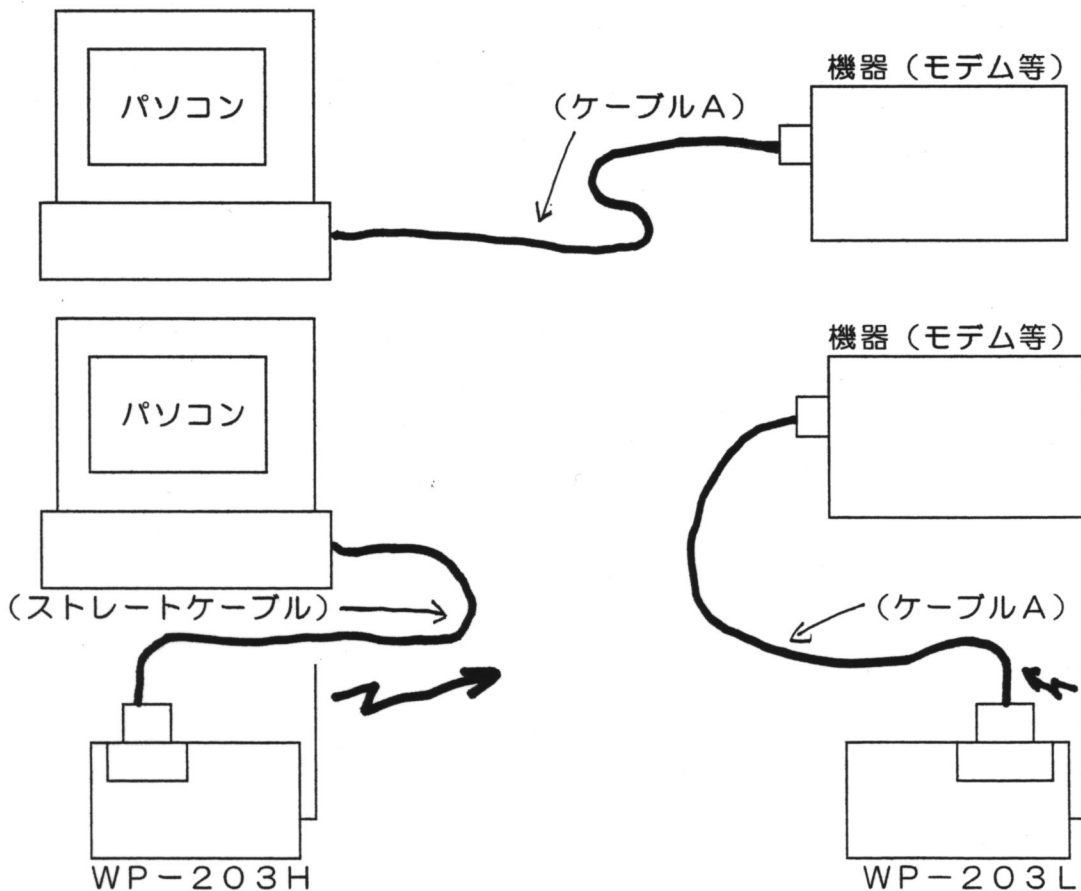
アンテナは基板のANT端子と附属BNCコネクタ（メス）の芯線間を数センチのビニール線等で半田付け接続し、BNCコネクタ（メス）に附属の伸縮アンテナを差し込んでください。



### ■パソコンや機器（モデムなど）との接続■

パソコン接続は別途Dサブ9ピンストレートケーブル（延長ケーブル）が必要です。

- ①現在パソコンと機器（モデムなど）を接続しているDサブケーブル（ケーブルA）のパソコン側コネクタをはずし、そこに『WP-203L』を接続します。
- ②パソコンと『WP-203H』とを、別途用意したDサブ9ピンストレートケーブル（延長ケーブル）で接続します。



主な特性

項目	仕様	備考
発振方式	PLLシンセサイザ方式	
受信方式	スーパーヘテロダイン	
送信出力	3m/500 $\mu$ V以下	
送受信周波数チャンネル	16CH	
送信周波数	H TYPE 314~321MHz L TYPE 262~269MHz	
受信周波数	H TYPE 262~269MHz L TYPE 314~321MHz	
符号標準感度	4 $\mu$ V以下	ビット誤り率が $1 \times 10^{-2}$
通過帯域幅	200KHz以上 (-6dB)	
変調速度	110bps ~ 115.2kbps	
電波形式	F2D	2値FSK
電源電圧	6V以上	内部 5V
消費電流	65mA以下	
空中線インピーダンス	公称50 $\Omega$	
信号入出力端子	RS-232C 9Pin D-SUBオス/メス	
外形寸法	90 X 55 X 15 mm	突起物含まず
動作保証温度範囲	0 ~ 40 $^{\circ}$ C	

1. 使用するソフトに応じてJP端子を接続します。
2. ANT端子に約25cmのアンテナを接続します。  
(他のANT端子に接続いたしますと微弱電波のパワーを超えてしまいます。ご注意ください)
3. WP-203LとWP-203HのDIPスイッチの設定を合わせます。
4. WP-203HのD-SUBコネクタ(メス)とコンピュータのRS-232C端子をストレートケーブル(延長ケーブル)で接続します。
5. WP-203LのD-SUBコネクタ(オス)と周辺機器のRS-232C端子をケーブルで接続します。  
ケーブルの仕様は使用する周辺機器の取扱説明書をご覧ください。  
コンピュータを接続する場合はクロスケーブルとなります。
6. 電源を接続します。6V~9VのセンタープラスタイプのDCパックを御用意ください。(70mA以上の電流が取れるもの)

正しくお使い頂くために

1. コンピュータ等によっては、この機器が使用している周波数帯に多数のノイズを発生しています。  
ノイズの影響を受けているようでしたら(データが化ける)コンピュータ等から離してご使用ください。
2. アンテナ間を人がよぎりますと、データが化ける場合があります。
3. 生命に関わる機器に使用しないでください。
4. 送受信しているデータはスクランブルされておりません。個人・会社情報等、重要なデータの送受信には使用しないでください。  
無線電波を使用していますのでデータの盗聴の恐れがあります。